

科学する心を育む土台

～お庭を通して「知る」心を見つめる～

学校法人聖学院 聖学院みどり幼稚園 埼玉県

ここが
Point!

子どもと大人がともに楽しみ、育ち合う場を考える

「お庭で育つ会」は、保護者をはじめとした地域の大人が自然なかたちで保育に参画し、子どもが育つ環境を協働でデザインしていく取り組みです。子どものために主体的に試行錯誤する日々は、いつしか、大人たちにとっても、自分らしさを発揮し、楽しめる時間となっていたようです。また、親子の枠を超えて、地域のコミュニティが広がっていったことも紹介されています。現在、子どもをみんなで支え、誰もがより幸せになる「こどもまんなか社会」の実現が目指されており、それは「科学する心」を育てるうえでも重要な観点といえます。「お庭で育つ会」の取り組みは、そうした社会の実現に向けたヒントになり得ます。

園全体で園庭を見直す

園庭の自然に目を向けると、私たちが生活する意味が少しずつ見えてくる。「雨水を溜めて畑に利用したい」「落ち葉を集めて、たい肥にしたい」「暑さをしのげる自然に近いうさぎの為の環境を作りたい」。思いは膨らむ。

家庭と幼稚園の役割に違いはあるが、子どもの育ちという視点では、共に考えていけることや進めていけることがあるのではないかと。保育者の思いと、園庭の自然環境の見直しが合致した時、私たちは、【教育の現場だけで子どもの育ちを囲うのではなく、子どもを取り巻く大人みんなで、子どもの育ちを知り楽しむ、そのような機会を作っていけるのではないかと】と考え始めた。

園庭を見直すと見えてきた膨大な希望と、育ちの見守りを区別せず、みなで楽しみたいという思いから、「お庭で育つ会」開催に至った。事実、保育者だけで園庭のことに取り組むには、向き合うべきものが多すぎる点を解決してくれる機会となったが、それ以上に、子どもの育つ場所を、保護者も共にデザインしていく豊かな機会になった。



ここでは、クラスも家族もなく、一人一人が自分で決定する。そのため、親子で共に活動することもあるが、それぞれがやりたいことに関わると、親子関係も、仲良しも関係なく、集まっていることが多々ある。この場所以外の活動でも、大人が子どもと丁寧に関わり、子どもも大人に安心して委ねる、そのような姿が、「お庭で育つ会」では多く見ることが出来る。

子どもの育ちの中で主体的に動き出した大人

お庭で育つ会

親子参加の
ワーク
ワークショップ

お庭でみんなで
流しそうめん
したい!

ずっとやりたかった
自然物を使った
アトリエ教室を
幼稚園で開きたい!

うちの家、
祖父母の家で採れた
野菜の種、
果物の苗どうぞ

幼稚園の一角を使って
子育て支援の
イベントをしたい!

竹なら
うちの家あるよ

保護者も、幼稚園の
大切にしたいことを
知りたいと思い、
ぐうたら村訪問

園庭に
石が欲しいなら
もらえるところを
見つけましたよ